

ヘレン・ケラー女史の恩人 サリバン女史に學ぶ

内 山 憲 尙

幸福の青い鳥

青い小鳥がとんできた

遠い國からはるばると

日本の空へ、このまどへ

海をわたつてとんできた

ヘレン・ケラーのおばさまは

いつも小鳥といつしよです

十一年目に日本を訪れた。三重苦の聖女ヘレン・ケラー女史は、日本國民があげて歓迎の中に、九月三日共立講堂における聾盲啞者大會を皮切りに、全國講演の旅にのぼられ全國民に再び、深い感銘と光とを與えられたのであつた。

九月六日の婦人の日が共立講堂で催された時には、全國保育連合會は主催者側と相談の上、代表幼児三名を選んで、美しい花束を、ヘレン・ケラー女史秘書のトムソン夫人及び通譯の岩橋武夫氏のお三方に贈呈をした。その可憐の姿は萬場の拍手をあびると共に、三方の非常なよろこびによつて受納

せられたことは、保育界のためにもうれしいことであると思ふ。(「ニュース映畫にも出ています」)

どの會場でもケラー女史の明るくほがらかで子供の様な姿と色つやのよい顔色、六十八歳と思われぬ元氣さに接し且つ努力と愛と平和とを説かれる。力強い言葉を聞いて心から頭の下り、胸の中にひしひしと感ぜさせられるもの多かつたことを感謝せずにはいられない。

ヘレン・ケラー女史は、生後十九ヶ月目に重い病氣にかかり、手當の結果生命は取り止めたが、目と耳を奪われ、口を封ぜられてしまつたのである。何と云う人生の苦痛だろう、目のみを失くした人はあり、耳のみを閉ざされた人はあるが、目と耳と口を同時になくした人には、全く、人生の光明は絶對に見出せないと考えられた。

しかし、この闇を破つて、彼女はいろいろの方法で人の話を聞くことを學び、自ら發聲する方法を發見した。そして、

十三歳の時にニューヨークのライトハマソン聾啞學校に入學し、十六歳でケンブリッジ女學校に入學、更に進んで二十歳でハーバート大學に入學した。

三重苦の聖女は在學中哲學や歴史學や英文學を専攻した。そして英語は勿論、獨、佛、伊、スペイン、ラテン語をマスターしてしまつたのであつた。

一九三一年テンブル大學より博士號を贈られ、翌一九三二年にはグラスゴー大學から、同校創立以來最初の婦人の博士として稱號を贈られた。

九月三日の共立講堂に於ける聾盲啞者大會に於ける、ケラー女史の講演に於て

「努力をすればする程、幸福が来る、これが私の人生哲學である。

の御言葉は、私たちの胸を打つものがあつた。昔の人が天才は努力なりと云つたが相通するものがある。

ケラー女史の今日あるは全く努力の贈と云わなければならぬ。

ヘレン・ケラー女史を聖女として禮讚すると共に私たちは、ヘレン・ケラー女史に今日あらしめた。恩師アニー・サリバン先生の大きい足跡を知り、最大の感激と尊敬とを捧げ且その教育法から大いに學ばなければならぬ。

アニー・サリバン先生の父はアイルランド人で貧困な労働者として、二十五ドルの下級船客としてアメリカのマサチ

ウセツ州に移民した。

アニーが生れたのは一八六六年四月十四日で、ケラー女史より十四年先に生れている。母は早く世を去りたつた一人の弟ジミーと三人暮しであるが、父が生活不能力者で二人の姉弟を残して行方不明となつたので、この哀れな姉弟は病院兼孤兒院へ送られたのであつた。冷たい院内生活も、たつた一人の弟ジミーをたよりとしてなぐさめられていたのであつたが、このたつた一人のたよりにする弟も、病弱と不具が原因であつた。世を去つてしまつた。

その上彼女自身の眼は視力が非常にぶつて來た。親切な神父バーバラに伴われてボストンの病院で治療を受けたのであるが、その結果ははかばかしくなかつた。結局又元の收容所へ歸つて來た。

しかし、天は善人をいつまでも見捨ててはいない——サンボーンと云う親切な人によつて、この暗いつめたい收容所から明るい世の中に出る日が來たのであつた。

一八七九年即ちアニーが十三歳の時である。サンボーンからボストン郊外にあるパーキンス盲學校に通學することになつたのは、一八八〇年十月でヘレン・ケラー女史が生れた年であつたのも何かの因縁と思われる。

六ヶ年の勉學によつて相當の成績で卒業し更によろこぶべきことは盲目に近かつた彼女の眼の手術の結果普通の活字を見る事が出来るまでに治療されたことであつた。

ヘレンの教師として迎えられたのは學校を卒業して一年後

で、なつかしいボストンを後にタスカンピアについたのが一八八七年三月三日であつた。彼女の鞆の中には幼稚園用の南京玉やカード、點字器とやさしい點字讀本、人形などが準備されてゐた。

ヘレンは物心がつくにつれて、聾盲啞の自分がわかつて來たのと、自分の意志が他人に通じないので次第に我儘となり、暴君となり氣短かとなつてゐた。サリバン先生が到着した時、ヘレンを抱き上げて接吻せんとしたら、ヘレンはこれを拒んだくらいである。時々爆發する暴君を叱らずに制御することに先ず意を用いたのである。

彼女はヘレンに物の名を教えることを始めた。そして「人形」を抱かせて、ヘレンの掌に「ドール」と何回も何回も書いた。そして、すべてのものには名があることを知らしめた。人形の次に「お菓子」と次から次へいろいろな物の名を掌に書いて教えた。

水と云うのを初めにコップに入れたを示して水と教えたので、次からはコップに入つていないものは水でないといくら言つても聞かせても我を通した。これはサリバン先生もほとぼるとこまつたが、ある日散歩しているとポンプ小屋の前を通つた。ヘレンにコップで水を受けさせて、ポンプを動かした。水はコップからヘレンの手に流れ落ちた、その時サリバン先生はヘレンの掌に「水」と書いた。ヘレンはコップを取り落して、全く釘づけにされた様に立つていたが、やがて「水」とサリバン先生の掌に書いた。それからと云うものは

一變して、今までの我儘はなくなり、暴君を發揮しなくなつたばかりではなく、文字を覺えることと非常に興味を持つ様になり、癡ている時以外——即ち眼がさめてゐる間はサリバン先生をつかまえて次から次へと掌に文字を教わることを續けたのであつた。かくして、ヘレンの學問は一段の進歩を示した。

それから次第に掌を指頭を以て軽く打つて意を通じる方法（指話法）を發見したのであつた。

サリバン先生の教育法は、強制や暗記の機械的な方法ではなく、どこまでも、經驗と興味とを以てやる無理のない教育であつた。あらゆる機會を捉え、生活と教育を結びつけた。部屋にあるものは勿論のこと、どこへ行つても見るもの聞くものすべてを教材として與えた。

町にサーカスが來た時などは、興行主に交渉して特に機會を作り、いろいろな動物にさわらせて貰つた。よくなれてゐる熊やライオンの子や豹をだいたりなでたり、象にのせて貰つたりした。そのよるこびは大變なもので、數日間はあらゆる動物のことばかり尋ねてゐた。サリバン先生は決して逃がすことなく、動物についてのいろいろな話を興味のうちに與えたのであつた。

次にサリバン先生の教育法に學ばねばならないことは、すべてのものを與える場合、これを美化し、物諦りとし、詩として、情操を培う可く努力してゐることである。

文法や難かしい定義や計算や方程式の様なものでも、こつこつした、かたぐるしいものとしてではなく、興味のうちに興える様にした。

ヘレン・ケラー女史はこのことについて次の様に述べていられる。

私はサリバン先生が、どうして私の喜びや望みに對して、あれほど特別な同情を示してくださったか分りません。恐らく長い間盲人相手の生活の結果であろうと思えます。その上、先生は驚くべき敘述（物語り）の天才でありまして、興味のない節々は簡単に片づけ、一昨日の學科を記憶しているかどうかを質問して、私を苦しめるようなことはありませんでした。先生は、科學の無味乾燥な専門上のことを私が理解せずにはおかれぬように、僅かづつ、極めてはつきりと教えてくださいました。（岩橋武夫氏の著書による）

赤ン坊が生れた時に小さいヘレンは「赤ン坊はどうして生れたの」「どこから来たの……」等この問題について質問が次から次を發せられた時、サリバン先生は、眞實をしかも極めて解りやすく、植物の生活に例を引いて、赤ン坊の生れる理由を説明して幼児の性教育の正しい解決を與えたのであつた。

宗教々育の必要なことを知つたサリバン先生は、自分の方がこれには適當でないと自覚して、ニューヨークランド州最

六の説教者フィリップ・ブルクス大僧正に願つた。大僧正はヘレンを膝にのせて、いろいろ宗教上の問題について教えたのであつた。ヘレン・ケラー女史が今日の深い信仰心の芽生はこの時に充分に養われたと云うことが出来る。

最後に吾々教育者——ことに保育者としてサリバン先生を見習わねばならないことは、先生の尊い教育精神である。

サリバン先生が母校の校長に送つた報告書を兼ねた手紙の中に

ヘレンは普通の子供ではありません。それだけにヘレンの教育に對する世人の關心も尋常ではありません。それゆえ、私の手紙は決して他人にお見せくださらぬようお願いいたします。私はできる限り、この美しいヘレンを、いわゆる天才兒にしてしまいたくありません。

私の任事は、私の頭と心と體の全部を占領しています。

私の心臓の鼓動の一つ一つに自分がヘレンのものであることを感じます。そして他人を生かすために自分の生涯を捧げるということを思う時、泣けてさえるのです。

たつた一人の子供を生かすために自己を犠牲にした尊い教育愛こそ、今日ヘレンケラー女史が聖界の聖女として生きてゐる所以である。

フィラデルフィヤのテンブル大學が一九三一年二月二十六日の創立記念日にヘレン・ケラー女史とサリバン先生に同時に博士號を贈ることになつた。ヘレンケラー女史は、かかる

禮遇を受けることは自分一人の名譽のみならず、自分と同じ境遇にある人たちへの奨励であるとして受けられたのであるが、サリバン先生は、一週間も考えた後これを辭退された。

その理由は、自分はこの名譽ある稱號に相當する學識を持っていないし、私の愛する私の生徒が大學に認められて稱號を受けたことは、私にとつてはこれ以上名譽であり、幸福であることはない。それで充分であるとのことである。

偉大な大教育者サリバン先生は一九三六年十月二十日七十歳を以てこの世を去られたのである。

ヘレン・ケラーに従うこと五十年、その一生をたつた一人の生活のために捧げ切つて、しかも、三重苦の廢人を世界的聖者にまで仕上げたことは全く奇跡的な一大創造でなくして何んであろう。

幸福の青い鳥

青い小鳥を見つきましょう

みんな さそつて 窓あけて

こゝろの中に青空に

私たち保育者の心の中に大きい愛を見つけ出した時、幸福の鳥はいつでも私たちに語つてくれるであらう。歌つてくれるであらう。

〔十七頁より〕を與える隙間でもある。家庭で之が實行されてゐるのはこゝの子供たちでも半分しかないのであり、揃うのを待つと云うことは恐らく一般家庭では少ないことであらう、自分の慾望を抑えて、自分の爲に奉仕してくれた先生や當番が席につくのを待つことは、雰囲気としてでも他人への思慮を形成する素地となる。そして皆で揃つてあと始末、揃つて共同作業で行われる處にも教育的な長所があらう。こち走様をして食卓を離れ食器をそれぞれ始末をして遊戯に移る——之を思うだけでも私共にも楽しい日課の一つとなつた。(以下次號)